

お便りをお待ちしています



このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。あなたの情報を、ぜひ広報広聴課へお寄せください。

☎55-2700 ☎51-1456

✉kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp

# まちかど ネットワーク



富士まつりで披露

「ひびけ！郷土の鼓動〜おはやし体験〜」を企画した

鈴木賢一郎さん

(今泉)

テンドコテンドコテンドコドコドン！威勢のよいかげ

声にあわせて、太鼓の音がロゼシアター練習室に響きます。

鈴木さんは、ことし、(社)富士青年会議所のまちづくり政策

委員会委員長として、「ひびけ！郷土の鼓動〜おはやし体験〜」を企画。15人のスタッフとともに、子どもから大人まで、おはやし初挑戦の40人に祭りばやし

独特のリズムを教えています。鈴木さんは「おはやし体験を通じて、『祭り』の楽しさを知り

各地域の祭りにも興味を持ってもらえればと思います。一人でも多くの人が祭りに楽しんで参加することで、街に活気があふ



▲真剣なまなざしの中にも広がる笑顔

れていくといいですね」と企画に込めた思いを話します。

鈴木さん自身、子どものころから、地元の天王祭に参加しておはやしを演奏するなど、祭りに親しんできました。現在は、

鉄材や配管を販売する家業を営み、仕事の合間に練習の準備を行う忙しい毎日を送っています。「おはやしを演奏するときの

わくわくする気持ちは、子どもころと変わりませんね。ぱちぱちを握って太鼓を打ち始めると、

熱いものがこみ上げ無我夢中になります。参加者の皆さんが笑顔で練習に励んでいる様子を見るとうれしいです。皆さん、自宅でも練習するほど熱心に取り組んでくれていますよ」と話してくれました。

7月23日の富士まつり当日は、市役所周辺で演奏を行い、練習の成果を披露する予定です。

皆さん、おはよしの音色を楽しんでみませんか。



40周年を迎えた

〜染めるよろこび集う楽しさ〜

富士の型染

グループ



創 始者の故・小山もと子さんが型染と出会い、地域独特の市民文化「富士の型染」のグループが生まれてから、ことし

で40周年を迎えました。代表の塩沢敏子さんは「富士の型染では、デザイン・型彫り・色差しなどすべての工程を一人で行います。工房を持たなくても、家庭で気軽に楽しく作品をつくれるのが特徴ですね」と話します。

数人から始まった活動は、型染を愛する人の輪が広まって、現在では会員112人、10グループの大きな集まりになりました。市内を中心に、市外からも幅広い世代の皆さんが参加し、



▲天候により染めた色の出方が違ってきます

自宅での創作活動のほか、月に1〜2回、市立博物館などでグループ活動を行っています。毎年行われる展覧会では、会員の皆さんの1年間の集大成が展示されます。40周年に当たることは、5月にロゼシアターで盛大に開催され、色とりどりの作品を前に、多くの人でにぎわいました。

また、市立博物館で年4回行われる型染体験講座では、富士の型染グループの皆さんが講師を務めます。型染の魅力について、「青藍」グループの皆さんは「型染では、自分の思いを色や形にして表現することができます。11もの工程を積み重ね、心を込めてつく

る世界に一つだけの作品です。だからこそ、完成したときの喜びは格別ですよ」と笑顔で話してくれました。

皆さんの今後の活躍が楽しみです。



▲着物・染額・のれんなど、さまざまな作品があります